



Rotary
国際ロータリー
第2620地区

御殿場ロータリークラブ

週報



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

- ### 第2706回 例会プログラム
- 例 会 場 / 東山荘講堂
 - 開 会 点 鐘 / 12 : 30 ● 国 歌 斉 唱
 - ローターソング / 四つのテスト
 - 内 容 / 会長・幹事・SAA挨拶
会長・幹事・SAA

- ### 会 員 慶 事
- 夫人誕生日 / 7月12日 齊藤礼志君 ご夫人 智子様
 - 皆 出 席 / 6月29日 長島和彦君 (ロータリー歴6年)
7月1日 勝又敏雄君 (ロータリー歴35年)
7月2日 林 準君 (ロータリー歴29年)
7月5日 望月 茂君 (ロータリー歴29年)

会 長 挨 拶

勝 又 誠



もうと言うのか、いよいよと言うのか、やっとと言うのか複雑な気持ちですが最終例会を迎えました。今年度の上半期23回、下半期21回、計44回の例会を無事に消化することができました。意外に思われるかもしれませんが井上幹事の段取りの良さと、肌目細かい配慮により、例会運営・理事会運営は何の問題もなく進みましたし、どこまでもきっちりやろうとした大胡田会計には何の不安もありませんでした。そんな二人が会長挨拶だけに専念すればいいようにしてくれたのですが、毎週毎週を何とか乗り切れればとその場しのぎのやつつけ仕事のようなことも何回かありました。幸いなことに、会長職は1年限りなのでやり直すことはできません。

以前話をしましたが、熱力学の第2法則は「エントロピー増大の法則」でした。当然第1法則がある訳で、第1法則は「エネルギー保存の法則」と言います。エネルギーは他の物体を動かしたり、変形させたり、壊すこともできますが、エネルギーがある状態から他の状態へ移動する前後で、その総量は常に一定不変で保存されるというものです。

今年度の44回の例会に出席することで、会員の皆様にとって見晴らしがよくなったり、風通しがよくなったり、新しい景色が見えたりしたら、私の出したエネルギーが皆様にうまく伝わったのであり、何の変化もなかったのなら私からのエネルギーは無意にその辺に散らばってしまったことになります。

ともかくにも永い1年間ではありましたが、各委員長の奮闘と皆様のご支援に感謝いたします。来週の7月6日に始まる斎藤衛・渡辺修司年度の健闘と勝又洋ガバナー補佐の職務が無事完了することを祈って終わりにします。



6/29の出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
55名	51名	48名	94.12%	100%

欠席者 (3名) 芹澤隆博君 渋谷 一君 豊山 篤君
※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。



司会・皆出席 菅沼良将君
出席報告・皆出席 勝亦敦志君
ソングリーダー 秋田悦夫君
会員誕生日 長田 崇君

6/15のメーキャップ

4月28日	地区研修協議会	勝又 博文君
4月28日	地区研修協議会	長田 富夫君
5月16日	北海道Eクラブ	勝又 英和君
6月8日	北海道Eクラブ	根上 眞一君
6月13日	沼津北RC	鈴木 榮一君
6月14日	長泉ロータリークラブ	林 準君
6月15日	北海道Eクラブ	秋田 悦夫君
6月15日	北海道Eクラブ	池谷 正徳君
6月15日	北海道Eクラブ	森田 義彦君
6月15日	東京ピースウィングロータリーEクラブ	山内 強嗣君
6月21日	北海道Eクラブ	勝又 厚君
6月21日	三島北RC	大胡田明寿君
6月21日	北海道Eクラブ	菅沼 良将君
6月28日	北海道Eクラブ	勝又 安彦君



CREATE HOPE in the WORLD
世界に希望を生み出そう

次 回
7月13日の
例 会

★名鉄菜館 ★18:00
★前会長・幹事慰労会並びに
新会員歓迎会
親睦活動委員会

一年を顧みて



会長 勝又 誠

～下半期を顧みて～

下半期は23回の例会予定でしたが、2月18日のIMと4月7日の観桜会が中止となり計21回となりました。6月1日からはロータリーソングも指揮者を立てての形となり、コロナ禍前の形に戻りました。

①親睦事業

1月12日…「新年会」

新会員歓迎会は該当者なしでしたが、次年度の7月13日には新会員歓迎会ができます。

4月7日…「観桜会」

12月末には早々と中止が決定し、3年続けての中止となりました。

6月15日…「移動例会」

4年振りの伊豆長岡温泉での一泊例会、芸者の皆さんがコロナ禍を何とか乗り切ってくれてくれました。

②クラブ事業

4月29日…米山梅吉記念館春季例祭（2名出席）

今後の運営方針と賛助会制度の新設が2月18日のIMで発表されましたが、その後正式な要請はないようです。

6月1日…新会員2名（嶋田康一君、柏原大地君）が入会 純増1名となりました。

③地区事業

2月18日…IMを富士宮で開催

規模を縮小した特別な形での開催でした。分担金1人当たり5,000円の内、半額の2,500円が返金されました。

4月20日…佐野ガバナー補佐 期末訪問

3つの達成された試み（合同奉仕事業、オンラインでの6回の会長・幹事会、IMの開催）を振り返りました。

5月21日…新旧会長・幹事会（13名参加）

勝又洋次年度ガバナー補佐の活動が本格的に始動しました。

④会員卓話、招待卓話

下半期の会員卓話は8回、招待卓話も8回でした。

2月9日…「ウクライナ避難民の現状とYMCAの取組み」

初めてのZoom開催、この方式は遠方の卓話者の依頼も可能となり、人選の幅が広がり期待が持てそうです。

5月11日…「早朝例会」

日本野鳥の会東富士新代表 勝又立雄様の初めての卓話。5月14日には指導に当たっている印野小学校が令和5年度環境大臣賞を受賞しました。

6月1日…ミラさんの「ウクライナの過去と現在」

1年以上続いているロシア・ウクライナ紛争はいつ終わるとも知れません。

6月8日…「創立記念日に因んで」

根上眞一君の1985年のチェンバースバーグ訪問記。名誉会員の菅沼久様、長田吉弘様が元気に出席してくれました。



幹事 井上 元

コロナ禍が緩和されつつあった本年度は、勝又会長の年度方針でもある

「ロータリー活動の再開」を目的に1年間の活動がされました。とはいえ形式は新型コロナ情報を鑑みつつの例会活動となり、11月からやっと教室形式の例会から円卓へ戻しました。また本年度は、次年度も継続となる「地区合同奉仕事業」が開催され、他クラブとの交流会を通じてメンバー同士関係の深まりを感じることができました。

1年間の活動計画を振り返り活動報告を作成したところ、本年度は前後期合わせて46回の例会計画のうちIMと観桜会を除いた44回の例会を実施することができました。44回中、ガバナー公式訪問、ガバナー補佐訪問を含め21回が外部卓話となりました。また通常の寄付金の他に、本年度は皆さまから9件の寄付協賛金がされましたことを報告させていただきます。

この幹事の職を卒業するには皆さまのご支援とご協力なくして成り立ちません。心から感謝申し上げます。殊に勝又会長には、会の運営について適切なアドバイスや足りない部分のフォローを多々いただきありがとうございました。会長の飄々とした態度に助けられました。そして事務局の遠藤さんにはお手数のかけっばなし多々ですがご協力を感謝いたします。



SAA 望月 茂

～例会を振り返って～

年度当初は座り心地の悪い椅子に無理して座っているような感じでしたが、椅子もひじ掛け付きに替えてもらい何とかSAAの職務を全うしなくてはという思いで取り組みました。

会長、副会長、幹事、会計のメインテーブルの皆さん、それを陰で支える重しの理事、毎回滞りのない例会運営をされたと思います。例会の進行役は親睦活動委員会のメンバーが交代でされていますが、新入会員でも大変見事に進行していました。我がクラブの増強・情報が伝統的に成功している証拠です。プログラム委員会も内外の卓話者で楽しい例会を作ってくれましたし、例会中の私語も気になることはありませんでした。例会の早退者は平均3～5人程でしたが皆さんSAAに報告して早退届も提出してくれておりました。